

第1回 筑後川堤防調査委員会

1. 日 時：令和2年7月13日（月）17:40～18:20

2. 出席者：

委員長

秋山 壽一郎 九州工業大学名誉教授

委員長代理

安福 規之 九州大学大学院工学研究院社会基盤部門教授

委員

佐々木 哲也 国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ
土質・振動チーム 上席研究員

福島 雅紀 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部河川研究室室長

矢野 真一郎 九州大学大学院工学研究院環境社会部門教授

（敬称略 五十音順）

3. 議事概要

○委員長及び委員長代理の選任

委員の互選により委員長を秋山委員、委員長代理を安福委員に選任する。

○被災箇所について、現地確認及び被災発生状況を事務局から説明。委員より被災要因や対策工を検討するため必要な調査内容について意見を伺った。また、現地での意見以外にも、今回の現地調査を踏まえた調査・分析等に関する意見は、委員より事務局に連絡する。

○筑後川 39.6k 付近

- ・堤体部の透水係数は、被災箇所堤体部の地質を調査し、設定すること。
- ・堤防の地質調査は、横断的に基礎地盤も含めて実施すること。
- ・湧水する現象は、堤体基礎部をとおり堤内地側から出る場合や堤体法尻部から出る場合がある。また、河川水だけでなく、堤内地側の地下水及び雨の影響により発生する場合もあるため、発生源を推定すること。
- ・地下水位が上昇した際にエアアーが噴く現象が発生することも想定される。
- ・近傍でパイピング対策として川表側に矢板を施工した箇所の状況を確認し、対策工の参考とすること。

【現地視察状況】

○筑後川右岸 39k600

